

## 【編集後記】

第4号では、洞天福地学の先輩・同好の士ともいべき学者の論文を掲載できた。クリストファー・M・シッペール教授の霍童洞天の論文によって、この洞天の重要性と、陶弘景の南遊について多くを学べる。掲載にあたり、フランスのCentre National de la Recherche Scientifiqueの方玲教授からの紹介とシッペール教授の許可をいただいた。陶金氏は、2013年3月の調査で茅山道院の楊世華道長の紹介により話し合い、その場で投稿の依頼をした。茅山の道観建築の復興を担う建築設計士としての見方が窺える。私どもの研究にとって、非常に有意義な内容である。志賀論文は、自身の研究に2013年の本研究の現地調査の成果をもちこんでいる。洞天がどのような宗教的変化を遂げたか、その一例が認識できる。廣瀬論文は、2013年の現地調査の詳細な報告と研究。氏は、調査段階で報告作成の担当となって子細な調査観察をおこなった。酒井論文は独自調査の成果である。土屋論文は、本誌第3号の茅山北便門に関する認識を、2013年3月の調査に基づいて改めたもの。ミニシンポの報告は、紙幅が少ないことを遺憾に思う。南京大学文学院、院長で司会の程章燦教授、基調講演の趙益教授、コメンテーターの金程宇副教授と樊昕氏、コーディネーターの楊弋枢副教授ほか、関係各位の御協力に心から謝意を表します。本誌編集にあたって、一部分の原稿を筑波大学の丸山宏教授に一読いただいた。版下作成には、水野杏紀氏に御尽力いただいた。また、版下の校正には、古賀弘幸氏の御協力をいただいた。以上記して感謝を申し上げます。(MT)

洞天福地研究（どうてんふくちけんきゅう）第4号

ISSN：2186-182X

発行日：2013年6月18日

編集：専修大学土屋昌明研究室内『洞天福地研究』編集委員会

〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1 専修大学9603

the0561@isc.senshu-u.ac.jp

発行人：尾方敏裕

発行所：株式会社好文出版

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町540

林ビル3F TEL 03-5273-2739 FAX 03-5273-2740

URL:<http://www.kohbun.co.jp/>